

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(竹田教育事務所)

No. 1

市町村名	プラン・計画等	目標		
		目標	行動計画	H28達成指標
豊後大野市	学力向上アクションプラン	<p>1大分県学力定着状況調査において市偏差値にて全ての教科において「50.0」以上</p> <p>2全国学力・学習状況調査において全ての項目において全国平均以上</p> <p>3教務主任・研究主任が連携し、他の職員をリードしながら課題解決に取り組む。</p>	<p>①授業改善に関する行動計画 ア学校全体で取り組む授業改善に向けて・授業観察結果の市教委への報告・京都教育大学と連携した組織的授業改善拠点校の設置イ習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)・習熟度別指導推進教員授業公開への全校参加と県・市教委の指導 ・小学校放課後TRY、小学校夏休みTRYの実施・小学校定期学力調査を通じた状況把握とその支援対策の構築 ウ司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立・学校図書館アドバイザーを活用した学校図書館活用TRY拠点校の指定 エ市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)・教科研修会における指導主事による指導 ・三重総合高等学校と連携した教科部会・竹田市教委、佐伯市教委、各教育事務所と連携した外国語部会の開催</p> <p>②学びに向かう学校づくりに関する行動計画 ・学びに向かう学校づくり中核校における授業公開及び報告会と市学力向上対策会議の連動開催・市内全町の小・中連携TRY連携部会における生徒指導3機能に係る研修実施・市内全町における兼務辞令による小・中乗入授業及び合同学校行事等</p> <p>③保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画 ・全児童生徒の生活スケジュール表作成による家庭学習の充実・小・中一貫教育TRY推進協議会(学校運営協議会)での全町協働4点セット進行管理シートの整備・全町での放課後・土曜日をを活用した放課後チャレンジ事業の展開・全町での放課後を活用した小学校放</p>	<p>県学力調査の市偏差値総合 国語・算数数学・理科・英語全て【50.0以上】</p> <p>○全国学力調査の平均正答率 国語AB・算数数学AB全て全国平均以上</p>
	体力向上アクションプラン	<p>1児童生徒の体力向上に係る目標 ・運動の楽しさや充実感を得ることのできる体育授業の強化 ・日常的な体力向上や運動の習慣化 ・体育専科教員の活用 2組織的な取組についての目標 ・体育主任等を中心とした組織的な一校一実践の実施 ・各地区小・中連携部会における体力向上に向けての連携</p>	<p>○小・中連携による取組の強化 ・各区域の小・中学校での体力の状況共有や互見授業の実施・中学校体育教員による小学校乗り入れ授業・連携による体育的行事の取組</p> <p>○体育専科教員の活用方法の工夫 ・体育専科教員活用推進校における実践事例の公開・体育専科教員による市内での実践事例の公開・体育主任会議における活用</p> <p>・対象校を設置し、対象校における体育授業の実施と取組の普及</p> <p>○体育主任の役割の強化 ・体育主任会議の開催をし、「一校一実践」についての情報の共有と特色ある取組の紹介・普及 ・体育主任を中心とした学校全体での「一校一実践」の推進・体力向上に係る研修の実施・体育授業の互見授業・提案授業の交流</p> <p>○その他 ・体育部会との連携 中学校部会における出前授業の実施 ・家庭・地域と連携した食育の推進</p>	<p>○児童生徒の体力向上 ・運動が好き・楽しいと感じる児童・生徒の割合 小学校80% 中学校 男子80%以上 中学校 女子70%以上 ・毎日体を動かしたり運動をする児童・生徒の割合 90%以上 ・体力調査で全国平均を上回る項目の割合 小学校 50%以上 中学校 20%以上</p>
	不登校対策アクションプラン	<p>(不登校生徒数・出現率)</p> <p>○中学校 生徒数11名/844名 出現率 1.3%</p> <p>○小学校 生徒数4名/1594名 出現率 0.25%</p>	<p>○取組 ＜計画・組織＞・「絆」と「居場所」のある学校・学級作り ・各校における実効性のある「不登校対策計画」の作成 ＜未然防止＞・「分かる授業」を目指した授業づくり(UDの手法・生徒指導の三機能)○中学校でのスタートカリキュラムの作成○特別活動や学校行事を通しての学校・学級づくり ＜初期対応＞・「豊後大野市あったかハート1・2・3」の活用・学校、SC、SSW、市教委との連携した対応の強化 ＜学校復帰支援＞・教育支援センター「かじか」との連携の強化・各校における受け入れ体制づくりの強化</p> <p>○地域不登校防止推進教員の活用計画 (拠点校) 1. 不登校生徒数及び出現率の目標値 不登校生徒数 5名 出現率 1.11% 2. 活用内容 ＜計画・組織＞・校内「不登校対策計画」の作成(小・中連携を基盤とした計画の充実・校内不登校対策委員会の活性化) (校内研修の充実、小・中連携部会との連携) ＜未然防止＞・「絆」「居場所づくり」を意識した学級学校づくり(QUテストの活用)・「学びに向かう学校づくり中核校」としての取組支援・小・中連携の強化 ＜初期対応＞・「あったかハート1・2・3」の取組についての指導 ＜学校復帰支援＞・児童生徒の実態に応じた学校復帰の組織的な支援 (教育委員会) ＜計画・組織＞各校の不登校対策組織の活性化 <未然防止>各校への巡回支援・生徒指導担当者会、SC連絡協議会への参加 「スタートプログラム」作成の支援 ＜初期対応＞・豊後大野市あったかハート1・2・3における初期支援 <学校復帰支援>保護者・SC・SSW等との連携した復帰支援</p>	

市町村名	プラン・計画等	行動計画	
			H28達成指標
豊後大野市	組織力向上計画	<p>ア 学校評価の改善</p> <p>○校長会議、教頭会議、教務主任会議及び学校訪問、面談等を通じて以下の点を確認し、さらなる徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画会議、運営委員会の計画的開催 ・目標・取組の共有と徹底 ・評価項目の整理と連動(協働4点セット、小中連携、各校重点目標) ・協働4点セットをもとにした学校関係者評価の推進 ・管理職、教務、研究主任の連携強化と授業観察、指導 ・モデルリーダーの意欲と資質の向上 <p>○課題のある町・学校への重点的指導の実施</p> <p>イ 学校運営体制の充実</p> <p>○主要主任による学校運営協議会を母体とした連携型小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の組織の拡大と機能の充実 ・目標や課題の共有 ・小中連携部会の定期開催 ・乗入授業の積極的な実施や合同校内研の推進 ・教育課程の研究 <p>○課題のある町・学校への重点的指導の実施</p> <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <p>○具体的で整合性のある目標・取組の設定</p> <p>○協働4点セットの活用と具現化</p> <p>○学力向上会議や学校関係者評価のあり方の見直し</p> <p>○PTA専門部の活用</p> <p>エ その他</p> <p>○UDの手法を生かした環境整備や授業改善の推進</p>	<p>学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率</p> <p>小学校 9/11校 中学校 6/7校</p> <p>(現状値) 小学校 3/11校 中学校 2/7校</p>
	主幹教諭の活用計画	<p style="text-align: center;">活用内容</p> <p>1. 学校運営協議会を母体とした連携型小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携会議、連携部会および学校運営協議会の運営 ○小中合同校内研の推進 ○9年間を見通したカリキュラム編成 <p>2. 目標達成に向けた組織体制の確立と運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企画会議→運営委員会→プロジェクト会議の定着 ○検証・改善に向けた手順の明確化 ○人材育成～主要主任の資質向上 ○個々の目標管理における指導・助言 <p>3. 研究主任と連携した校内研の推進と日常の授業改善に向けた指導・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○重点目標との連動、取組指標と検証指標との整合性 ○授業観察と指導 <p>4. 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教務主任会議等において主幹教諭の職務内容・取組について交流 	